

# 会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）について 市民説明会
日時	平成 27 年 9 月 9 日（水） 午後 6 時 30 分～午後 9 時 07 分
会場	中野市立永田小学校体育館
出席者等	<ul style="list-style-type: none"><li>・参加者 90 人</li><li>・教育委員会出席者 11 人 教育委員 5 人、教育委員会事務局 6 人</li><li>・報道機関 1 人</li></ul>
次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1 開会</li><li>2 あいさつ</li><li>3 基本方針（案）について</li><li>4 質疑</li><li>5 閉会</li></ol>
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

- 1 開会 進行：教育次長
- 2 あいさつ 教育委員長
- 3 基本方針（案）について 学校教育課長から資料に基づき説明

#### 4 質疑

##### 意見

- 豊田地区の小中学校の適正規模を考える会の会長を務めさせていただいております。豊田地区の皆さんにアンケートを取ることになりまして、この機会にアンケートの結果を説明させていただきます。アンケートは全部で27通いただき、高社中学校区への統合は反対という意見が7件、豊田中学校区の維持をしていただきたいというのが11件、豊田地域から学校が無くなってしまわないかと懸念しているというのが16件でした。中身は、将来子どもたちがこの地へ戻って来られなくなってしまう、地域との繋がりがなくなってしまうということが中心になっています。小中一貫校に対する懸念もあり、小中一貫校にすると、校舎や児童生徒の学習環境のメリットが少ないのではないかというご意見もありました。又、方針（案）は非常に大規模である、11月決定は性急すぎる、忙しすぎるというご意見も8件ほどいただいています。教育委員会に関係ないことではありますが、施策への要望です。魅力ある地域づくり、中野市の人口減を防いでいただき、特に豊田地域の人口増を図って欲しいという意見がありました。質問事項としては、もし高社中学校と統合になった場合、そのときの児童生徒数、歩いて行く、電車で行く、バスで行く等のことも把握してこういうことをやったのかという質問がありました。このアンケート結果を通じて、学校は地域の皆さんにとって、非常に大切な物だということに改めて感じました。
- また再来年、学校と地域をむすぶ信州型コミュニティスクールが始まると聞いていますが、これは学校と地域の願いを共有しながら一緒になって子どもを育てていくものと聞いております。この信州型がスタートした時に、こういう方針（案）でいったならば、ちょっと後ろを振り返った時、すでに地域がなかったということになったらどうでしょうか。先日、中高下高井教育研究会に出席したときに、環境教育を学ばせていただきました。この中野市内に素晴らしい自然が各地区にあるということがわかりました。当然、豊田地区にも忘れられては困る自然や歴史というのがあります。教育を考えますと、それぞれの学校でもっと時間をかけて深めていくというのが大切だと思います。今日の説明の資料の中に、ご理解とご協力としてございますが、私たち保護者、地域の皆様方が納得するということが大切になってきます。仕方がない、我慢しなくちゃだめだ、ということではなく、より多くの意見を出していただきたいと思います。一人でも多くの皆様方に意見を出していただき、本日の説明会が有意義なものになればと思っています。

#### 意見

- 本日説明をいただいた基本方針案については、受け入れることはできないと思っています。まず、適正規模審議会の答申では、1学級あたりの児童生徒数は小中学校とも25人程度が望ましいとしながら、今回の基本方針（案）では長野県の学級編成基準の30人規模学級で算出しています。ですが、昨年4月に長野県教育委員会では、少子人口減少社会に対応した活力ある学校環境及び支援方策が出されており、その中で望ましい学級規模は、少なくとも20人規模の確保ができることが望ましい、ともされており、小規模校の活力を維持するために、人的支援を含めて市町村教育委員会への支援をするとも言っています。したがって、30人規模学級にこだわる今回の基本（案）は、県の考え方や審議会の答申とはずいぶんかけ離れていると思われませんが。

#### 回答

- 審議会からの答申では、25人程が一番適正となっておりますが、県の指針も大事にしないではいけないと思っています。それは、県費の正規教職員の配置が30人規模学級の35人編制で先生の配当が決められるためです。きちんと県費の正規職員を配置することが大事であるとした結果でございます。しかし、不足している場合には、各学校からの要望に応じて、市費で支援員の先生方を配置していきます。

#### 意見

- 新聞報道では、この大規模な統廃合は異例の規模だとありましたが、30人規模にして国や県に点数を上げるためにしたのではと思ってしまうのですが。

#### 回答

- 点数を上げるためということで検討や協議したことは一度もございません。ただ、子どもたちが主体的に学んだり、課題をもって学ぶためには、ある程度のグループ編成のニーズがあります。例えば25人、30人となってきた時に、4つ・5つ、5～6人でグループ編成をして、お互いに問題を追及していく事が、子どもたちにとって、学び方を学ぶという一番大事なことであろうということに行きついています。

#### 意見

- 2頁に記載してございます適正配置の基本的な考え方の中に、「通学距離や通学の安全等を考慮しながら、学校を地域に適切に配置することを基本的な考え方とする」とあります。3頁の(1)には、「よって現在の市内小中学校における通学区域の見直しは現実的でない」という部分がございます。さらに、4頁②でも、省略しますが「カリキュラムの一貫性から適切ではない」、このようにしたにも関わらず、その下に「豊田地域だけが、なお、将来的には高社中学校校区への統合も検討する必要がある」としています。これは、ただの数合わせとしかとれません。2頁の下の方にも、これから危ないという中学校は豊田中学校、その5年後の32年度には高社中学校も小規模校になり得るという

表現だと理解していますが、豊田中はそれでも少ないから大きい方の高社中と一緒になれと読んでとれますし、どうしても豊田地域から学校をなくしたいという表れだと思えてなりません。これが、教育委員会と審議会の皆さんが議論に議論を重ねて出したというお話でしたが、責任をもって我々に提案できる、地域に適切に配置することなのではないでしょうか。

#### 回答

- 答申では、中学校数の削減という提案をいただきましたので、議して参りました。豊田の地域性や皆様の思いも大事にしなければならぬ事は承知しておりますが、ただ、将来的に豊田地域だけでなく他の地域も人口の減少となってきたときに、隣接する学区で、というようなことで検討してきました。

#### 意見

- 合併には反対です。歩いて学校に行っていたのが、合併してしまうと車を使ったりするので、寒い時などの忍耐力や体力がつかなくなってしまう。地域との助け合いも薄くなるし、いじめや自殺にもつながっていく可能性もでてきてしまうので、できれば校舎を残す方向で考えてほしい。

#### 回答

- 豊田地区の地域の体制や地域の要望を大事なご意見としてお聞きします。

#### 意見

- 残った校舎はどうなるのですか。

#### 回答

- 地域の声をお聞きしながら、全市的にどんな活用法がこの地域の活性化に結びつくかを十分に考えてたいと思います。

#### 意見

- なぜこの審議会が立ち上がったのか、どこから出た話なのか。例えば、保護者が小規模校が心配だから検討してくださいという話があったのか、それとも県の方から小規模について適正にやってください、それとも教育委員会の中でそういう意見がでて始まったのか。基本方針の中に経費、費用が一切載っていないが、教育費や校舎の費用がかかるから統合した方がいいということが裏にあるのではないかと思いました。

#### 回答

- 審議会ができる前の平成 21 年ぐらいから教委委員会の中では関係者といろいろ話をしていたわけですが、その中で、少子化や児童生徒数の減少という現状を掲げまして、

やはり学校教育の在り方について検討する必要があるのではないかとということで、適正規模等審議会を設置し、議論していただいたという経過があります。経費につきましては、削減するためということではなく、あくまでも少子化に対応した学校教育の在り方ということで、経費が安い高いというものではありません。

**意見**

- ある程度人数が必要というのは理解できるのですが、小規模であるがゆえに、この辺が劣ってしまうというのはあるのでしょうか。

**回答**

- 例えばテストの点でいうと、小規模の学校だからどうかというのはありません。またそういうことで比較はしておりません。ただ、音楽では、隣同士の学年で合わせてもわずか10人そこそこというような状況になったときに、楽器の演奏とか難しくなります。また、歌唱指導を音階別にマンツーマンでやるということはできますが、合唱を合せるのは大変苦しいところがあります。

**意見**

- 豊田中学校が将来的に高社中と統合するという話についてですが、初めて新聞報道で知り、そこには将来的に合併することが決まっているのではないかとという印象で私たちの方には入ってきました。先程の説明ですと、もしかしたら合併しないのかもしれないとも思えるし、どうなったら豊田中学校は高社中学校と合併することになるのでしょうか。

**回答**

- 将来的な人口の減少を予測しての案ですが、まだ未知数な部分がございます。こういった人口減少も見据えて、将来的には統合ということでご理解をいただきたいと思います。

**意見**

- つまり、児童数生徒数、子どもたちの減り方によって適正規模にならなければ合併もあり得るよ、というような理解でよろしいですか。

**回答**

- それも一つの要因になるかと思えます。

**意見**

- 私は中学校が高社に行ってしまうというのは反対です。この話が出る中で、果たしてどれだけの人達がこの旧豊田村に残って子供を育てるのでしょうか。高社中に移れば、

豊田は将来的に人口が減り、子どもが減り、高社中の方へ市の予算も投資され、高社中学校区は良くなって、あの地域に人口が増えていく。帰ってこようと思った人たちが、高社の方が平で広くて・・・そんな話になっていけば、未来も決まってしまう。だったら、高社中が豊田中に来ればいいじゃないですか。倭小も豊田に来てください、というような合併も当然あってしかるべきだと思います。でも、倭小の子どもたちがあれだけ柳沢遺跡のことを総合学習で頑張って、真剣に学習に取り組んでいるような人達が、果たして高野辰之のことを勉強しにここへ来るかっていうと、なんで？ってなります。同じように、ここに住んでいる辰之先生の故郷を唄っている子どもたちが、いきなり高社にいて辰之先生がねって言ったところで、どれだけの子どもたちがそれに応えてくれるのでしょうか。学校を適正規模というだけで合わせていく、確かに合理的で学習の面でいい面もあるとは思いますが、その地域の文化を支えていくというのは、その地域の学校を残すということだと思います。

- 小学生についてですが、先程小学生が歩いて通えるという話がありましたが、私もすごく大事だと思います。小学校の低学年が地域をめぐって社会科の勉強をするというときに、子どもたちの地図の中には歩いて行ける範囲の物しかありません。スクールバスで通っていくような学校で、地域探検して一体それがどれだけその子の人格形成の中に残っていくのかということを見ると、何の役にも立たないと思います。やっぱり地域を歩いたエリアから子どもたちは沢山の発見があって、良き市民として育っていく、その最初の一步をとらないでいただきたいなと思います。
- 地域に学校を残してくれということは、当然地域の我々が、地域のためにやらなきゃならないことが沢山あると思います。しかし、学校に対し何をすれば子どもたちの学びに役に立つのか、これはどれだけ学校が地域に開かれているかという問題になってくると思いますが、それが示されておらず、この地域の潜在力がわからない中で合併の話が進んでしまうと、この地域に住んでいて、実は子どもたちのために何でもするよと思っている人たちがいるのに生かされないという可能性もあると思います。子どもたちにとって小規模というのは決して悪いことではなく、10人なら10人でやっていますので、少しでも良くするために地域ですることがあるならば、それは学校から発信してもらいたいなと思います。そういうことも含めて地域に学校を残す努力をぜひ具体的に進めていただきたいと思います。適正規模を考えなければならぬ、合併のことを考えなければならぬのは、結局人口が減っているせいです。人口が減っているせいなのに、合併して合理化を進めてしまうと、当然地域差が生まれて人口が減ります。であるならば、この問題に逃げず、正面からぶつかって行って、何とか人口を増やせる方法を考えていく機会ではないかと思います。

#### 回答

- 豊田の小中学校は、地域の皆さんにとっても気持ちを開いています。学校にほんの一部でもお手伝いができるということであれば、積極的に声をかけていただき、地域の皆さんのお力添えをお願いしたいと思います。

## 意見

- 望ましい教育環境ということについて話をさせていただきたいと思います。具体的に、豊田中学校の生徒会の3つの柱は、挨拶、清掃、歌です。まず5頁に高野辰之先生の故郷を中心にしたとあるのですが、7月15日に豊田中学校1年生は野沢温泉へキャンプに行って、おぼろ月夜の館に行きました。野沢温泉は、高野辰之先生がいた所ですが、都会から来た観光客の方は、高野辰之先生は野沢温泉で生まれたと思っているわけです。観光客の方にどこの中学ですかと聞かれ、高野辰之先生が生まれた豊田中学ですということで、おぼろ月夜の館で、故郷を四部合唱しました。そしたら観光客の方が拍手をしてくださいました。それで、初めて野沢温泉は晩年住まれたところであって、生活の地はここではないんだということを知ったわけです。それと、3月14日に飯山駅に新幹線が開通したときも、故郷を合唱しました。豊田中学校では、4月1日に転入した職員に故郷の歌で迎え入れ、卒業式に退任される職員を故郷の合唱で送ります。パラリンピックに山崎吉太郎さんのような著名人の方々が豊田中学校に来られた時も、故郷を合唱します。皆さん、非常に感動されていました。5月に上田市で60チームのバレーボール大会が開催され、その入場行進のときに故郷を唄いながら入場しました。しかも、故郷と書いたのれんを職員室から黙って持っていき、それを持ちながら故郷を合唱しました。故郷が豊田で生まれたことを知らない方がたくさんいらっしゃいます。その故郷を大切にしなければならないという思いで、中学校では取り組んでいます。
- それと挨拶についてですが、挨拶は自分からやらなければいけません。いま、生活委員会が中心になって毎朝登校してくる生徒に挨拶をしています。また、地域の方と会ったときに積極的に挨拶をするよう生徒会で呼びかけています。8月15日に私が担任していた生徒が成人式を迎え、成人式に招待されました。その彼女が成人式代表で挨拶したことは北信ローカルにもでていますが、中学校のときはこの地域で会った方に挨拶をするのは当たり前だったと、都会の大学行ってからは隣のマンションの方と会っても挨拶をしない、顔を合わせない、逆に挨拶をする方がおかしいというような感じで、そして、ここを離れてみて地域の人との絆というものを感じましたという風に言っていました。もし、スクールバスになると、挨拶をすることができません。それと、長野県小中一貫校をやっている小中学校に行って話を聞きました。スクールバスでは対応できなくて、タクシーを使っているようなんです。タクシーの場合は自由です。何時に学校を出る、何時に迎えに来てくれというのをタクシー会社に連絡をする、そうするとタクシーが迎えにきてくれます。お金は誰が払うのかというと、あとで帳簿をつけておいて教育委員会に提出してその町の教育委員会が出してくださるということです。これでは、忍耐力は育たないと思います。夜遅くなる以外は雨でも自分の足で来るというのが当たり前だと思っています。
- 清掃についてですが、豊田中学ではずっと斑尾川清掃を行っていました。2年前に台風が来て川が氾濫して危険だということで、川には入らないで周辺の掃除に切り替えました。先週は2年生が地域の清掃をしました。1年生はこれから計画していきます。もし学校がなくなってしまうと、学校の鉄棒もブランコもできません。遊ぶことができま

せん。家の中にいるだけです。観光客がきたときに、子どもたちが見えない、遊んでいない、家でゲームをしている、これが高野先生の故郷なんではないでしょうか。また、豊田の良さはいっぱいあります。例えばB&Gの体育館ですが、都会の高校生や大学生、いろんな種目の合宿が入ってきます。またはプールは専門員がいて、斑尾高原へ合宿に来ます。今、豊田の地で合宿することがいいということで、新幹線が開通したことで富山県や石川県から体育施設のB&Gを視察しに来ています。湯田中や北志賀高原に泊まって豊田の体育館を使っているんです。こんなにいい環境で、大学生や高校生の合宿が確実に増えています。地元の我々が使わないというのは非常にもったいないと思います。もし高社中学校に合併になれば、いまジュニアのバレーボールやバスケットボールの地域の方に協力いただいて子どもたちのスポーツができていたのが、なくなってしまいます。地域から学校がなくなるということは、子どもたちのいい教育環境にはなりません。そういう面でいうと、私は人数が少なくても豊田には学校を残しておいてほしいと思うし、学校が一緒になれば部活動の活性化というのも書いてあるけれども、豊田中学校は人数が少ない、確かに部活動も少ない、部活動をやりたくて高社中学校や中野平中学校に行っている生徒がいるということは事実です。豊田中の職員は人数は少ないけれども、絶対に高社中学校には負けたくない、中野平中学校には負けたくないという気持ちで一生懸命部活動に取り組んでいるつもりです。部活動の人数と部活動の時間に体育館やグラウンドにいる職員の割合でいけば、中野市の中で豊田中学校が間違いなく一番だと思っています。学校が小さくてもやることは出来ると思うんです。ぜひ、豊田中学校は永久に残してほしいと思います。

- 小中一貫教育についてですが、小学校と中学校が併設することはいいですが、一貫にすることは反対です。小学校6年生というのは児童会のリーダー、学校全体のリーダーです。私は4月1日の入学式のときに、君たちは先月までリーダーだったんだからその気持ちは続けてやってほしいと言います。小中一貫になったことでの弊害というのは、5年生と6年生がリーダーになり得ない。そうすると、育つべきものが育たないまま過ぎていってしまいます。

#### 回答

- 高社中と一緒にするという事、小学校の2校は統合しないで更にそのままということについては、賛否両論ございますので検討させていただきたいと思います。
- 小中一貫校については、おそらく信濃小中のお話かと思いますが。十分研究させていただき、当事者の方々からも話を聞いていますので、今後の参考にさせていただきたいと思います。豊田中学の行事の中での故郷の合唱は感動的です。まさに故郷教育のひとつであると思います。同じように現在豊井小でも永田小でも故郷学習を非常に大事にしています。こういった中で、3校一本のカリキュラムで結びつけることは出来ないかということで、小中一貫が生まれた経過があります。

## 意見

- 統廃合の問題を新聞報道で知り、先生方、保護者はみんな驚いていた。審議会で審議されたことだと思うのですが、小学校は2クラス以上、中学校は3クラス以上というのは、私の娘が10年前に永田小に入学したときも1クラスでしたので、その時から理にかなっていなかったと思います。統廃合は子供が減ってきているので仕方ない、100%反対というわけではないと思いますが、でもどうすればいいのかということを考えれば、上から目線ではなく、保護者とかの意見も取り入れてほしいです。今日来たくても来られなかった方に聞いたのですが、1月決定で4年後からというのは早すぎる。木島平小中一貫校のケースでいうと、10年前から準備し始めてということでしたので、住民の方の賛否両論を大事に検討するべきだと思います。この説明会を第一歩としていただいて、11月の決定は早すぎるし、4年後というのもまだ心構えができていない。若い保護者さんも実家などに親がいて、中学校が近くにあるから一緒に住んでいるという人もたくさんいると思います。おじいちゃん、おばあちゃんたちも孫の顔が見れて生活ができる、もしスクールバスで行くような所に中学校があると、若い保護者はここから出て行ってしまいかもしれない、引っ越ししちゃうかもしれない、そうなってほしくはないよね、というお話をしました。地域の住民の意見を広くとって、何回も検討していただき、4年後というのは早すぎるので、ぜひ説明会をもっと開いていただきたいと思います。

## 回答

- この説明会が始まって、ただ今のようなご意見いただいております。中には賛成なんだけれども、具体的なもっと細かなことを聞きたい、またその反対の方もいらっしゃいます。地元の住民の意見も聞く機会をつくって欲しいというような要望もいただいております。それを踏まえて、現在あと5回残っております。基本的には、再度検討という言い方をしておりますが、全部終わってないということでそのような言い方をしておりますが、一歩ずつ進んでいければと思っていますので、よろしくお願いします。
- 高社中学校への統合について、ご意見が多くでておりますが、適正規模審議会の中では中学校を1校削減となっており、その点について一番悩みましたし、時間をかけて検討いたしました。地域性を考えると、豊田地区のためにも豊田中学校は残したいという気持ちではありますが、小学校が1クラス10人満たないクラスが増えてくると、子どものためには、統合ということも考えなければいけなくなってきます。長いスパンで考えた時、豊田中学がもしそういう事態に陥ったときには、もう一度考える必要があるのではないかというような意味でここに載せてございますが、説明会が全部終わった時点で改めて協議し、皆さんにお知らせしたいと思っています。

## 意見

- 協議した結果というのは、新聞報道でされるのですか。

#### 回答

- そこが難しいところで、どこか1校説明会をやれば新聞にでる、前は議会の全員協議会でこの方針案をご説明を申し上げたのが、新聞で取り上げられました。新聞にだそうと思って、新聞社に発表してくださいというわけではなく、新聞社が取材に来て報道されるということがあるので、ご理解をお願いいたします。

#### 意見

- 報道関係者がいらっしゃることですので、一句一句気を付けて新聞報道をされていたらいいと思います。

#### 意見

- 私は自分の子供が活躍するのが見たくて、この地域に住んでいますが、子どもを高社中学に行かせました。その活躍が期待できたのは、その当時、永田小学校のこの広いグラウンドに、休日でも夜でも練習の時に、その当時の教頭先生が私たち親子のために砂場をトラクターで耕してくれたから、全国大会に行く事ができました。高社中というわけではなくて、4頁に豊田中はこれからも続けるようなことが書いてあって、2頁には逆にクラブ活動や部活動の活性化が期待できる学校規模であること、というような逆のようなことが書いてありますが、今の子どもたちに活躍してもらいたいという気持ちが保護者にはあります。豊田中の子どもたちは、やりたい部活がなくという子も結構います。自分がやりたくない部活に入ったり、部活に入らなかったり、せっかくこういう話がでたので、豊田中が続くの前提にやるなら、今の子どもたちを活躍する、例えば、私も南宮中や中野平、高社いろいろ遊びにいくとやっぱり吹奏楽の音が聞こえると気持ちいいんですよ。でも今、豊田中の子どもはそういうことが経験できない、せっかくこういう話がでたので、できたらいろんなことにチャレンジできる、試合には出られなくても練習することはできる、そんなような環境をつくっていただければと思います。よろしくお願いします。

#### 意見

- 今年の3月まで豊田中学校の生徒でした。難しいことは分かりませんが、私は永田小学校で育って豊田中学校に行き6年間を過ごしました。人数は、小学校のときは15人だったし、中学校は19人で多くはありませんでしたが、その少ない中でいろんな経験ができたし、豊田地域に関する活動を通して豊田の素晴らしさを学べたので、豊田中学校を残してほしいというのが願いです。この話ができるだけ長引いて欲しいと思っています。

#### 意見

- 説明会ででた意見を聞いて、また持ち帰って検討すると言われたのですが、昨日も話がでた中で、1頁の真ん中部分になりますが、住民の十分な理解と協議、この協議が、

そちらの決定の説明を聞くんじゃなくて、そのような説明の前に住民と対話をしていただきたい思います。それだけ難しい問題だと思います。そちらで決定じゃなくて、こちら話を聞いていただいて、こういう説明会の場での話じゃなくて、住民の方と保護者の方と膝を付け合せて話をし、その結果、教育委員会から言ってくださればいいのかと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### 回答

- これからの進め方に大きく関係していくことですから、これからも他の地区のいろいろご意見ございますので、十分お聞きして考えて参りたいと思います。

#### 意見

- 豊田地区で小中一貫校が検討されていますが、他はどうなんですか。

#### 回答

- 中野平中学校区の関係では、中野平中学では今年8年目になります、学びの共同隊とう積み上げた研究があり、これを平野小と高丘小の一貫にもってくるということは、積み上げたものが今後発展していかないという状況があり、小中一貫としてはしておりません。同じように、南宮中学校区でも大学の先生をお呼びして、研究体制をとって子どもの教育にあたっています。そのあたりも相当考えたところでございます。豊田地区は、故郷をととても大事にしている3校がございまして、これを結び付けて大事にしていくということで、小中一貫を提言しています。

#### 意見

- 今言われた故郷を大事にするのであれば、豊田地区も小中分離型にして中学校は中学、例えば永田小学校を残して豊井の方に来てもらうとか、校舎の規模が書いてあると思いますが、これを見てももらうとわかりますが、永田小学校の校庭の広さは中野市の中で一番広い小学校です。こういうものをきちっと利用していくとか、そういう考えもありかと思っています。テニスコートにもなってますし、防災の面もありますし、このグラウンドを無くすことの無いようにしていただきたい。

#### 意見

- あと3頁(3)のところに、学校の選択制はしないこととすると書いてありますが、例えば豊田中の生徒が高社中に行くと仮定したときに、高社中しか選択できないのか、距離的に中野平中に行きたい人もいると思います。

#### 回答

- 学校の選択制についてですが、1点目が、ご自由に選んでくださいとした時に、子どもの数、男女比などのバランスが崩れたとき、保護者や生徒の意向を大事にすると、調

整が非常に難しくなります。2点目ですが、進学率とか、部活動を指導するのにいい先生がいる、生徒指導に非常に優れた先生がいる、あの学校ならあの先生は3年くらい異動しないよ、あるいはその逆で、保護者の皆様からダメな先生、悪い先生などのうわさがたっていきます。その点を懸念しまして、いろいろ話し合った結果でございます。

#### 意見

- 4頁の③、なお、将来的には豊田中が豊井小と永田小との統合校と一体で高社中学校区への統合も検討する必要がある、と書いてあるのですが、これは豊田小中一貫校すべて高社中学校区へ通学すると理解するのですが、小学校は豊田には必ず残してもらいたい。そこだけは強く要望します。又、豊井小と永田小を高社地区に統合を検討するという文言もはずしてもらいたい。

#### 回答

- 文言を消すということも含めて再度検討させていただきます。

#### 意見

- 基本方針(案)難しいのですが、自分の意見としては3校すべて残していただきたい。子どもの人数が減少していくので、統合して増やしてよりよい学校教育を子どもたちにやってあげたいということですが、小規模校のメリット、小規模校ならではのことも考えてほしい。ここに書いてある内容というのは、大人の意見であって、子どもの気持ちをくみ取れるような場を設けてもらいたいと感じました。

#### 意見

- 子どもも孫も学校に直接関係ないですが、地域ということで来ました。教育問題を考えたときに教育環境の整備、教育の充実、そのために今回学校規模の問題が出ているわけですが、教育の中身をよくするには、ただ単に学校規模の問題だけではないと思います。先生方は大変忙しく、よく見てやりたくても見てやれない、報告書とか事務的処理などの負担が非常に大きい。だから先生方がもっと子どもたちと面と向かって一緒にいろいろできるような体制が必要ではないか。たしかに小規模だとか大規模だとかいうことはあるけれども、その前の問題として考えてほしいと思います。
- 小学校は2クラス、中学校は3クラス、これが長野県の教育の方針だと言われているわけですが、果たしてそうでしょうか。小学校はなんで1クラスではまずいのでしょうか。機能や人数のことは別としまして、中学校は3クラスではなくて、2クラスでもいいじゃないですか。何か学校の統合を考える場合に、規模が基本なんですね、小学校は2クラス、中学校は3クラス、というようなことがあるので、大変無理をして今回の決断をされているのではないかという気がします。
- 故郷教育という点について考えますと、中野市全体の故郷教育というのは無いと思うんです。故郷教育といえ、その地の教育ということになるのではないだろうか。その

地理的な条件だとか、歴史的な成り立ちだとか、いろんなこういうことがあったとか、なかったとか、ある特定の地域でなければ勉強できないわけですよ。例えば豊田地区と高社地区の話がありましたが、川一つこっちと向こうでは地理的、社会的、歴史的な成り立ちが随分違うと思います。そういう意味では豊田と高社、豊田と中野は、やっぱり故郷教育を考えると一緒にできないと思います。

- 教育現場で直接携わっている先生方の意見というのを聞かれたのでしょうか、あるいは校長先生を通してまとめて聞かれているのかもしれませんが、直接担当されている先生方個人個人の意見もぜひ聞いてほしいと思います。

#### 回答

- 後先になってしまいますが、学校現場の先生方の意見ですが、教育委員で市内の学校を訪問し、教室を回って子どもの様子を見学しています。その時に、現場の先生方のご意見、声を聞いております。また最近ではまだ実施まで至っておりませんが、教職員組合の方からも説明会の要望がありますので、日程等調整しているところです。
- 先生方が忙しいということについては、市教委の方というよりも県の教育委員会で、先生方の事務の量、仕事の多忙さについて調査し、遅くまで残らないようにという取り組みをしています。
- 故郷については、川向こうとでは文化が違うという事も理解しておりますが、市全体として、中野市の故郷というおおきな視点で取り組んでおります。

#### 意見

- 私自身もまさにこの小学校を卒業して、豊田中学校を卒業しました。どの時も少人数で中学校のときは1クラスでした。今説明されている大規模にした方が、会話ができる関係とか活性化できるとかありますが、少人数だったことでそれがなかったとは決して思いませんし、自分の仲間たちがここで育ってきたことにすごく誇りをもっているし、とても大好きだったので無くさないで欲しいという思いがあります。地域に根ざした教育ということで、この辺の地域も自分の足で歩いて探検したことも社会科の授業でありましたし、この広いグラウンドを活かして、運動会の時も楽しかったし、地域の方々もたくさん来ていただいて広々とした活動ができたことを覚えています。又、畑や田んぼを目の前に育ってきたので、たくさんの活動ができました。統合ありきの検討の仕方はぜひ無くしてほしいと考えます。
- 私自身は親川地区で小学校時代からスクールバスでした。また中学校はバスの活用をさせていただきましたが、それがこの地区から向こうの方まで延びると思うと、大変だなと思いますし、市の方から毎年定期を出していただきましたが、そのような面でも大変だと思います。大勢の中で部活ができて、またバスの時間があるから一人だけ早く帰るとか、そういう融通がきかない部分も個人個人違ってくると思うので、それは対応しきれないのではないかと思いますし、子どもたちの様子を具体的に考えていただき、それをまた説明や話し合いをしていってほしいなと卒業生としては思います。

- また、故郷教育という説明がありますが、それがもっと魅力的だったらきっとそこで学ばせたいと思う人もでてくると思うし、そういう学校を無くしてからではなく、学校の中身について取り組んで欲しいと思います。学校が無くなるのはとても寂しいので、11月という期間にこだわらずに、もっと長いスパンで考えて行って欲しいです。

#### 意見

- 一母親として聞きたいことがあります。中学校で小学生と中学生を一緒にするという話になっていますが、私も豊田中学を卒業したのですが、あそこの中学生の校舎の中に小学生が入ってストレスなく学習ができるのか心配です。新しく何かを作るとか、小学生用に音楽室でもプールでも作っていただけるのか、すごく気になります。あと4年後にもし統合とするなら、今現在、保育園に行っていないお母さんたちも関わってくるのですが、そのお母さんは小学校も中学校も見たことがない方たちもいると思うので、ぜひその施設を見せて、ここで一緒にするんだよという説明も兼ねながら、この中学校の校舎で小学校の1・2年生も楽しく過ごせるようにという説明をしてほしいと思います。

#### 回答

- 施設整備については、環境の悪化にならないように、できる範囲で教室の増築や施設の改修を予定でいます。保育園前の保護者の見学につきましては、検討させていただきます。

#### 意見

- まったく中学校に行ったことのないお母さんもいらっしゃるので、母親目線からこんなところだよと、ぜひ中学校に集めていただいて説明していただくか、この校舎でここを直します、というところまで、決まってないのに4年後にというのはちょっと無謀な気がするので、もうちょっと長い目でいろいろ説明をしていただいてから決めていただきたいと思います。

#### 意見

- 今日の意見をまとめてもらって、いろんな地区の意見もオープンにしてもらって、いい意見があつてこう決めたとついうならいいけど、教育委員会で決めたもので、説明会はしたというのでは納得しない。住民が納得いくような説明をしてもらいたいと思うが。

#### 回答

- 9月30日までに各会場をまわりますけれども、出た意見につきましてはホームページなどで公開し、30日の説明会がすべて終わった以降で、何らかの形で地元の皆さんとお話をしていきたいと思っています。

**意見**

- ホームページだとよく見られない、できれば新聞や広告とかで出してもらいたい。

**回答**

- ご要望については、なるべく皆さんに周知できるように検討させていただきます。

**意見**

- この説明会は決定したことを説明していただいているのでしょうか。案となっておりますが、これで話を聞いて、これをまたいい方向にするための説明会なのですか。市の方はいつも説明会、説明会、決定しているからダメですと、そんな説明会しかないんですけれども。

**回答**

- どちらの説明会というお話ですが、あくまでも案でございます。皆さんの意見をお聞きする、ただ、全員の意見をそっくり拾うわけにはいきませんので、また9月30日が終わった時点でお話を聞く機会を設けていこうと思います。

**意見**

- このような説明会を何回もしていただいて、ずっと期限を決めないでやっていったらどうでしょうか。案なら決定の日付を決めないのがいいと思います。

**回答**

- 日程の方はこれからの検討課題です。

**意見**

- じゃあこれで決定ではなくて何回も説明会をして、日付は決めずにやっていくという理解でよろしいでしょうか。

**回答**

- そういうことです。

**意見**

- 小規模校なら小規模校の、大規模校なら大規模校の良さがあると思います。これを学校の統合ではなくてカバーできないでしょうか。先ほどの説明の中で、音楽活動の合唱等で苦勞されているということでしたが、2校合わせて音楽をやればいいじゃないか、それをスムーズに動けるようなスクールバスを運行するとか、授業の計画をそういうふうに組めば、できないことではないなと思います。また大規模の学校も小規模の良さ、小規模の学習も取り入れるべきです。せっかく中野市ということで合併したのだから、

豊田地区、中野地区とそんなこと言っている場合じゃない、同じ中野市の市民として、どちらもいい方を取り入れるべきだと思っています。そのあたりも検討していただき、多方面でもっと深く考えていただいて合併にしたい。私は合併してもいいと思っています。高社中学合併した、また小学校、中学一緒でもいいだろう、ただその中でいろいろな学習をしっかりとできるかが問題、地域性のことも勉強できる、このような事も研究していただいて、将来の子どもさんたちに活かして行ってほしいと思います。

#### 回答

- 教育課程の中身は今後きめ細やかに詰めて参りたい、特に小規模、大規模という話がありました、市内 15 校それぞれの教育計画・運営計画をもっておりますので、それぞれ研究し、また先生方の声も十分聞いて参りたいと思います。

#### 意見

- 昨日から説明会をお聞きしています。日程では昨日の時点で直すことはしないということでしたが、今日はだめなら伸ばすということをおっしゃっていただいたので、すごい進歩がありました。その中で再度協議させていただきますという文言がかなり多く出ました。それはどういったメンバーの方でやるのでしょうか。今、基本方針（案）をつくられた方たちでやるのか、また新たに募集をされてメンバーを入れ替えてやるのか、結局基本方針（案）をつくられた方だけでやられるのであれば、またそれに沿った結論にしかならないような気がしますので、そのへんについては新しい血を入れていただいて検討していただければと思います。

#### 回答

- 回り終わった後、当然具体的な進め方、組織を考えていかなければと思っております。学校現場の先生方の意見も十分聞いてほしいというご意見もありますので、考えたいと思います。

#### 意見

- 私は生まれたときから永田地区に育って、今自分の子ども三人小学校に通っているのですが、豊田地区が中野市と合併したときに私もよくわからない間に合併してしまって、この歳になって学校の問題もでてきて、今までここで子育てをしてきて、中野市と合併して吸収合併じゃないと聞いているんですが、いろいろな面ですべてが中野市の方に吸収されてしまっていて、なんのメリットもなかったような気がしています。それで今この時期に豊田地区から学校を全部無くすじゃないですけど、将来的には豊田中が豊井小と永田小が統合されて一体型になる、高社中への統合も検討する必要があると書いてあり、結局学校まで中野市内に吸収されてしまう感じがしてすごく寂しいです。そういうことがあると今でもここは過疎化が進んでいるのに、学校までなくなってしまうと、これから例えば今の子どもたちが就職する先も減ってしまう気がし

ます。今は学校の問題だけなのかもしれないが、大きく言うと、子どもだけじゃなくてみんなこの豊田から出て行ってしまいう気がして、人がいなくなって住めなくなっちゃうのはすごく寂しいです。中野市とは別にいろいろなものを考えてほしいというか、中野市全体の統合する数に豊田は入れてほしくありません。教員の数が少ないとか、教員を確保する経費が足りないから学校の数を減らさなければいけないのですか。豊田地区の1校だけ残すという考えはないのでしょうか。資料6に豊田中の耐用年数が書いてありあと4年後ですが、小中一貫にしたときには、豊田中を改築するという考えもあるのか教えてほしいと思います。

#### 回答

- 豊田地区から学校を無くさないで欲しいということですが、一通り全部回ったあと、再度検討させていただきます。それから決して先生の数が減ってしまうとか経費の不足とかで統合ということではございません。あくまでも、子どものことを考えて検討した結果でございます。
- 耐用年数については、確かに表でいきますと平成31年とでておりますが、もしこの案のとおり統合になった場合、できるだけ環境を悪化しないように改修したいと思います。

#### 意見

- この永田地区は、新幹線が開通したこともあって、高速道のアクセスがよく将来的に発展することが大きい所だと私は思っています。行政の企画力や人口増に向けた政策のあり方次第で、人口減少に歯止めが効いていって人口増につながる糸口が見つかるかもしれない可能性でございます。本日の説明は、国の基準、長野県の基準、中野市の基準、将来的には人がいなくなるから、学校をなくす必要があるからという説明ばかりでとても納得がいきません。考え方の違いで将来が変わる要素がある地域から、どうか小中学校を取り上げることはご勘弁いただきたいなと思います。取り上げることが現在の中野市長さんをはじめ、行政に携わる皆様のお考えでしょうか。児童生徒を増やすためには若者が魅力を感じて戻ってくるのが今この地域で取組む重点課題というのは、だれでも認識していることだと思います。合併から10年が経過しまして、人口減少だけを理由に学校を減らして学校経費を効率化させるという発想は、お話の中から伺えます。この10年間で成果が上がらなかった行政の責任を、将来を託す子どもたちに残すのは非常に残念です。仮に豊田地区あるいは永田地区から学校がなくなって廃校になったあかつきに、過疎化がみてとってわかる状況になったときには、この責任はどなたがとっていただけるか、あるいはどんな形で次の方策を考えていただけるのでしょうか。

#### 回答

- これは市全体の大きな施策にも関わってくることで、大事な点をご指摘いただいていると思います。市の政策の説明会もございますので、ご意見をいただければありがたい。

## 意見

- 先程 11 月の決定は先延ばしにするというお話がありましたので、ぜひ永田地区、豊田地区のことをもう一度精査していただき、私どもが期待するようなものをつくっていただければと思います。

## 意見

- 今日のお話を伺っていて高社中への合併については、私の感触では真っ新たな状態で検討していただけるのかなという印象はもちました。適正規模ということで、結果どうなるにせよ、文言として新聞報道も含めて、豊田中は合併するかもしれないということが世間に伝わっています。それは、豊田はこの先小さくなる地域なんだというレッテルを張られたのは間違いありません。文言を変えるとか、削るとかいうお話をいただきましたが、もちろんそれは決まった方針に合わせて訂正するべきところはしていただければいけないわけですが、その時に豊田中が合併することを検討すると書いてあったものが、ただ無くなっただけでは、世間の皆さんの目からは、それでも豊田中は人数が減るんだよね、という印象のものに見られるということはあると思います。何をお願いしたいかという、じゃあ豊田中学校区は、もし文言が消えるのだとすると、統合せずに地域に残す方向で一体何をしていくんだということを、規模の問題からだけでなく、さっきのカリキュラムの問題ですとか、そういったところも含めて教育委員会さんや地域や学校の教職員の皆さんとよく詰めていってほしいです。ふるさと教育というのも漠然としていますので、具体的にこういうものを目指して、豊田の地域に学校を残していくんだということを、プラス思考で伝わるような形にさせていただかないと、一度ついてしまったマイナスイメージは拭えないのではないかなと思います。ですので、決して短期間で分かるようなことではありませんので、そういうところも含めて検討していただければと思います。報道はどうしてもその度その度に伝わるものですから、なかなか真意が伝わりにくいというのも分かるのですが、少しでも豊田地域の為というか、いい印象になるような、要はこんなことを頑張っているんだ、こんな思いを受けているんだということが伝わるような形でひとつひとつ残していただければと思います。

## 意見

- 新聞報道がでてから、自分なりにいろいろ考えました。皆さんもそうだと思います。子どもからの面から考える点と、ここに生きる住民として考える点、この二つがあると思います。子どもにとって何が一番幸せな教育なのか、教育が目指すものは何かというところが、漠然だったので、もう少し詳しくお聞きしたかったところです。大規模にすることを前提でお話をしているというように感じました。大規模化することによって、当然マイナスになることがあります。例えば、いじめの問題は、永田小学校のような小規模校に果して意味があるのか、イメージとしては、大規模校の方が多いのかなと印象があるのですが、先程ソフトという話がありましたが、もう少しつめた形で指示をいた

だきたいです。子どもにとって何が幸せかというのを我々が判断できる材料になると思います。

- もう一つは、地域の住民の思いということからですが、私は小中学生、高校生の子どもは今いませんが、もしこの地区に学校がないということになれば、ここに帰ってこいと言うことは絶対にはないと思います。つまり学校とは、地域のシンボルになるわけです。結局生きがいというになるのだと思います。その学校をなくすということにつきましては、現在国も地方創生ということを言っていますが、まさしく無くした地域に何をするのか、どうやって地域の活性化、地域の創生をするのか、そういうものが全くなくて、学校の規模だけを問題にして統合をしましようということであれば、地域の住民として当然納得できるわけがありません。そういったところを含めても、中野市立ですから、教育委員会のものだけではないと思いますので、今は学校規模による統廃合をするというビジョンしかないものですから、無くしたとしても、そのあとの地域活性化、地域創生をさせる市としてのしっかりとしたビジョンを示していただかないと、判断ができないと思います。今の資料だけでは、到底判断ができません。協議が続くとお聞きしたものですから、その協議のときには、そういうものまで示していただき、判断ができるような資料にさせていただきたいと思います。

## 5 閉会 (PM9 : 07)